



情報誌

FAR

58 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email: office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

～新型コロナウイルスと豪雨の時代～

副会長 山 哲男



2020 年は、歴史に記憶される年になる事が起こっていますが、皆様方にはご清栄にお過ごしのことと存じます。その一つが、世界的に大流行している新型コロナウイルス感染であります。我が国でこの感染者が確認されたのは 3 月 11 日でした。それ以後、全国各地で感染者数が増加傾向にあり、政府は 4 月 7 日に新型コロナウイルス感染緊急事態宣言を行い、蔓延を防止するための策として『①「三つの密」が重なる状況を避けるようにし、自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底しましょう。② 日常生活や職場では、人混みや近距離での会話、多数の者が集まり室内において大きな声を出すことや歌うこと、密接した状況で呼吸が激しくなるような運動を行うことを避けましょう。③ 感染防止のためには、できる限り頻繁に石けんを使って手洗いして下さい。④ 咳をする際には、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにし、室内の換気にも気を付けて下さい。』と呼びかけ、不要不急の外出を控えることに加えて、都道府県を越える外出も控える様に自粛生活をする様に要請しました。これにより、日本人の生真面目な国民性によって感染拡大が徐々におさまり、5 月 25 日に『新規の新型コロナウイルス感染者は 1 日 50 人を下回り、一時は 1 万人近くいた入院患者も 2000 人を切ったと説明し、世界的にも極めて厳しいレベルで定めた解除基準を全国的にクリアしたと判断し、緊急事態を解除する』と宣言しました。

この間、JSRT はパシフィコ横浜会議センターでの開催予定の第 76 回総会学術大会の開催を取りやめ、5 月に Web を利用したオンライン上での開催を決定致しました。本会も総会学術大会中止の決定をうけ、「2020 懇親の集い」を急遽中止する事になりました。また、本年 10 月東京ファッションタウンビルで開催予定の第 48 回秋季学術大会の開催も中止となり、「FAR 会 2020 秋季懇親の集い」も中止せざるを得なくなりました。

本会は、2001 年 4 月に発足以来「この会は、会員の親睦を図ることを旨とし、併せて JSRT の発展を支援する」を目的として活動を行い、その一つとして、春は「懇親の集い」、秋は一泊二日の「懇親旅行」を開催していましたが、やむなく中止に追い込まれ、発足以来継続してきた懇親活動が出来なくなった事は大変残念です。然し乍ら、7 月中旬頃より東京都を中心に関東圏では 3 月上旬頃を上回る感染者の増加が続き、関西圏でも感染者が増加しはじめ、この傾向は全国的状況と考えると、当分は以前の様な日常生活に戻るのには難しいのではないかと思います。今後は、この感染症とどのように共生して過ごしていくかを考えねばなりません。会員の皆様方におかれましては、上記①から④の事項を励行されて感染症に罹らない様に十二分に注意をされてお健やかにお過ごし頂くように願う次第です。

内 容

1. ごあいさつ 副会長 山 哲男
2. 会からのお知らせ
3. 新入会員紹介
4. 寄稿「FAR 会の先生方へ ー思い出ー」 京都市 宮高 睦
5. JSRT 情報
6. 連載「安比奈廃線観て歩き」その 1 川越市 森 克彦
7. 編集の小窓

もう一つの出来事は、ここ数年これまで経験した事がない梅雨時の豪雨に伴う水害が起こっていることです。今年は九州地方で大雨による河川の氾濫で被害が起こり、その後、各地でも九州地方と同様の水害が起こって被害が続いています。被害で命を失くされた方や被害に遭われた皆様方に心より、お見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染ならびに、梅雨時に毎年各地で繰り返し起こる豪雨被害と、どのように折り合いをつけて生きていかねばならない事を心に刻み、「新たな生活様式」を模索する時代の到来であると考えます。

《会からのお知らせ》

1. 会員動向（前号以降の会員動向）

(1) 会員情報(2020年7月31日現在)

会員数：93名（内、名誉会員：15名）

(2) 新入会者：1名（辻岡勝美 2020年7月16日入会）

(3) 退会者：1名（飯田泰子 2020年6月2日付け）

(4) 死亡退会者：1名（名誉会員吉田 弘 2020年2月4日逝去）

2. 事務局動向

(1) 宮高 睦 JSRT 事務局長が2020年6月30日付けで退職

(2) 中藺誠善氏が2020年7月1日付けでJSRT事務局長に就任

《新入会員紹介》（近況、趣味の記述内容は入会申込書に記載されたものです。）

・^{ツジオカ カツミ}辻岡 勝美 氏（愛知県豊田市 2020年7月16日入会）



【近況】2020年に藤田医科大学医療学部放射線学科を退職し、現在は同大学客員教授です。1980年にタイでカンボジア難民救済、2000年からバンコクのチュランコン大学で大学院の指導を行って来たことから、退職後はタイ、アジア地域で放射線技師教育を行う予定です。今後は日本放射線技術学会とアジア地域の関係強化に尽力したいと考えております。

【趣味】趣味と言えばスキーぐらいでしょうか。学生時代は白馬八方尾根スキー場でバイトをしていました。現在は愛知県障害者、視力障害者のスキークラブのボランティアとして活動しております。

スキーボランティアの関係で大型自動車の免許を持っています。マイクロバスの運転なら大丈夫です。

《寄稿》

FAR会の先生方へ 一思い出一

京都市 宮高 睦



2020年6月30日付で公益社団法人 日本放射線技術学会 事務局を退職いたしました。

2009年10月1日にお世話になって以来10年と9か月となりますが、この間大過なく事務局長として業務を遂行することができました。これも先生方からのご指導の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございました。

10年9か月は、(株)島津製作所からの出向時代の5年3か月と(株)島津製作所定年退職後の正職員時代の5年6か月となります。最初のイベントは中間監査で



懇親の夕べ

(2016 年 4 月
聘珍樓横浜本店
にて)

監査会場にいただけでしたが、監査の進め方など把握することができました。2 番目のイベントは 2009 年 10 月 22 日から開催した第 37 回秋季学術大会(岡山市)でした。この秋季学術大会で初めて FAR 会の重鎮の先生方とお会いしました。故四宮先生から FAR 会についていろいろとご説明いただいたことを昨日のように思い出されます。

FAR 会の行事は、総会学術大会時の懇親会「懇親の夕べ」、秋季学術大会時の開催地近郊の観光地等への 1 泊旅行、両学術大会時に開催される世話人会、それから年 3 回の情報誌の発刊です。

総会学術大会時の懇親会への最初の参加は、職員とともに 2010 年 4 月に萩原(明)先生&森先生が代表幹事をされた「美濃吉」でした。FAR 会の先生方に初めてお会いすることもあり結構緊張していたことを覚えています。2011 年の懇親会は石井先生&藤田先生が代表幹事で屋形船での懇親会が計画されていましたが、未曾有の東日本大震災のため総会学術大会が横浜開催から Web 開催に変更されたことを受け、中止となりました。2012 年は屋形船でリベンジ開催されました。屋形船での宴会は私にとって初めての経験で横浜の夜景を海側から眺められ大変楽しく、興奮したのを覚えています。

2013 年は「SCANDIA (スカンディア)」(萩原(明)先生)、2014 年は「岩亀本店」(速水先生)、2015 年は「利久庵本店」(伊藤先生)、2016 年は「聘珍樓横浜本店」(前田先生)、2017 年は「馬車道十番館」(平野先生)、2018 年は「BEER NEXT (横浜赤レンガ倉庫 2 号館)」(江島先生)、2019 年は「イタリアンダイニングザ サウス」(橋本先生)、2020 年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響のため、総会学術大会の横浜開催が Web 開催となり、職員として最後の懇親会は残念ながら中止となりました。幹事の先生方のおかげで有名なお店で美味しい食事と先生方との楽しい会話が事務局在任中のいい思い出となりました。ここに感謝申し上げます。

秋季学術大会時の一泊旅行は大会開催中のため参加することはできませんでしたが、台風の影響が心配されたケースが結構印象に残っています。特に第 45 回秋季大会時の「2017 広島・宮島を巡る旅」(神澤先生)では台風接近による大雨の中大会会場を出発されたのが記憶に残っています。また、昨年の「2019 世界遺産比叡山延暦寺詣と石山寺紫式部を訪ねて」(小水先生)では滋賀県ということもあり、秋季学術大会終了後に宿泊ホテルに駆け付けて宴会に参加させていただきました。宴会ではフラダンス、利き酒大会が催され楽しいひと時を過ごさせていただきました。

情報誌の発刊については、事務局は情報誌編集長から届いた原稿ならびに同封物を会員数分印刷することと封筒の宛名印刷を担当し、発送作業は京都近郊にお住まいの山先生、清水さん、草山先生（最近は清水さんの代わりに漢那先生）が主にされました。発送当日の10時ごろから事務局に集合し、わいわいがやがや先生方がお話されながら印刷した用紙の冊子化と封筒詰めを行っていただきました。先生方のチームワークの良さが印象に残っています。約11年間の在職中に2つの記念誌が発刊されたことも記憶に残るイベントです。2011年10月に発刊されました「FAR会設立10周年記念誌」と2018年1月に発刊されました「FAR会創刊五十号記念誌」です。編集委員会から事務局からのメッセージを依頼され、何を書こうかと少し悩んだことを思い出しますし、五十号記念誌では山先生、清水さん、草山先生にご協力いただき掲載用の写真を撮らせていただきました。



設立10周年記念 職員一同

（上左より、井口さん、砂畑さん、北川さん
下左より筆者、寺本さん、川嶋（澤井）さん）



創刊50号記念 先生方と職員一同

（上左より、寺本さん、宇高（仲井）さん、北川さん、
川嶋（澤井）さん、岡田さん 下左より、山先生、
筆者、清水さん、草山先生、井口さん）

事務局在職中に先生方からいろいろな思い出をいただきましてありがとうございました。事務局を退職して人生の節目を迎え、これらの思い出とともにこれからはうまく時間を使って健康で自分なりの人生を送っていければと考えています。これからもよろしくお願い申し上げます。

最後に、先生方のますますのご健勝ならびにFAR会のご発展を心よりお祈りいたします。

《JSRT 情報》

『第77回総会学術大会』大会テーマ：「先人たちの功績とその先へ Milestones and beyond」

大会長：西出裕子（岐阜医療科学大学）

会 期：2021年4月15日（木）～18日（日）

会 場：パシフィコ横浜会議センター他

『第49回秋季学術大会』大会テーマ：「万里一空 ー新たな創造の光を放て！ー」

One team One goal - Liberate your imagination toward brilliant world -」

大会長：川田秀道（久留米大学病院）

会 期：2021年10月15日（金）～17日（日）

会 場：熊本城ホール：熊本県熊本市中央区桜町2番17号

《連 載》

「安比奈廃線観て歩き」その1



筆者が地域の散策を行いながら気になっていたことの一つは、廃線と考えていた貨物線でした。この安比奈線は、埼玉県川越市の南大塚駅から安比奈駅を結ぶ3.2kmの貨物線です。時間ができたら廃線となっている鉄路を訪ねて観ようと考えておりましたが、2017年6月に新聞の地方版に2017年5月31日を以って正式に廃止となったことが報道され、この時点まで安比奈線は休止であったことが明確になりました。廃線が広報されると貨物線の撤去或いは宅地化などにより、存在した痕跡も失われるのではないかと考えて時間をかけて訪ねて観ようと思います。

安比奈線の歴史について

安比奈線は、埼玉県川越市の南大塚駅から安比奈駅を結んでいた西武鉄道の貨物線で、1963年より50年以上の長期間にわたり休止線となっていたが、2017年5月31日に正式に廃止線となりました。この貨物線が延びていた入間川の対岸には安比奈新田（あいなしんでん）と呼ばれている地名があるが、安比奈線の安比奈の読みは「あひな」です。

安比奈線の目的は、入間川で採取した砂利の運搬を目的として1925年(大正14年)2月15日に開業したが、関東大震災の復興砂利の需要減や採取規制強化により、1963年以降、休止線扱いとなっていました。1987年、西武新宿線の旅客増に対応するため上石神井駅－西武新宿駅間を複々線とする計画が発表され、それに伴う車両の増備のために安比奈駅に新しい車両基地を作る計画が浮上しました。川越市と狭山市では仁杉巖社長(当時)が出席し地元説明会も開催され、安比奈線の旅客線・通勤線化の構想まで出ていたが、少子高齢化などの影響で需要予測が下方修正されたために、この計画は1995年(平成7年)に無期延期となりました。

計画が無期延期となったのちも、川越市では2006年に策定した第三次川越市総合計画実施計画において、安比奈線の旅客線化及び新駅の設置を促進する施策が盛り込まれ、その後更新された際にもこの施策は残されており、2015年に更新された際にも引き続きこの施策の記述が残っています。しかし、西武鉄道では2016年2月10日に安比奈車両基地の整備計画の廃止を発表するとともに関連した減損損失126億4000万円を2015年4－12月期に特別損失として計上しました。安比奈線廃止決定の理由について、西武ホールディングスは「南人曾車両基地の増強などにより、新基地の必要がなくなった」と説明しています。これにより、安比奈線も復活することなく廃止の手続きが進められ、2017年5月31日に廃止されました。

この路線の概要は、休止時点の1963年時点の踏切は、国道16号と交差する部分の1か所のみが踏切警報機や遮断機が設置されている第1種踏切であった以外は、すべて踏切警報機や遮断機が設置されていない第4種踏切で、このため、国土交通省の路線別の統計資料では2017年の廃止までの間、西武鉄道でも第4種踏切の設置数が記録されていました。

開業内容の年表

・1925年2月15日－開業・1949年2月－電化・1963年－休止・2017年5月31日－廃止

線路の状況と活用

休止後も、線路や架線柱などは残されていたものの、ほとんど整備はされておらず、即座に運行再開できる状態ではありませんでした。枕木は朽ち果て、国道16号の横断など踏切は略すべてアスファルト舗装で埋められており、八瀬大橋への取り付け道路は路線を完全に遮っています。かつては線路上を歩くこともできる状態であったと考えられるが、長らく放置され、枕木の腐朽が進んで危険なことから、踏切などから線路に入れないよう柵が取り付けられました。また敷地内への立ち入りを禁止する旨の看板も区分毎に設置されています。

2006年(平成18年)11月5日、西武鉄道の前身川越鉄道の開業111周年を記念した「小江戸川越鉄道開設111周年記念フェア」の関連イベントとして、「幻の貨物線西武安比奈線を歩く」が開催されたことが思いだされます。

廃線跡については川越市や関係機関と今後の活用を協議しているが、内容は未定の様です。鉄道設備の老朽化が進行しているため、2017年(平成29年)12月16日から2018年(平成30年)3月31日の工期で旧安

比奈線設撤去作業の実施が告知され、2018年(平成30年)1月16日から同月31日、架線柱の撤去工事が行われました。その後も作業が続けられているが、レールや枕木、橋桁の撤去は行わないとされています。

路線データ

- ・路線距離：3.2km・軌間：1067mm・駅数：2駅
- ・電化区間：全線(直流1500V)・複線区間：なし(全線単線)
- ・閉塞方式：なし(無閉塞運転)

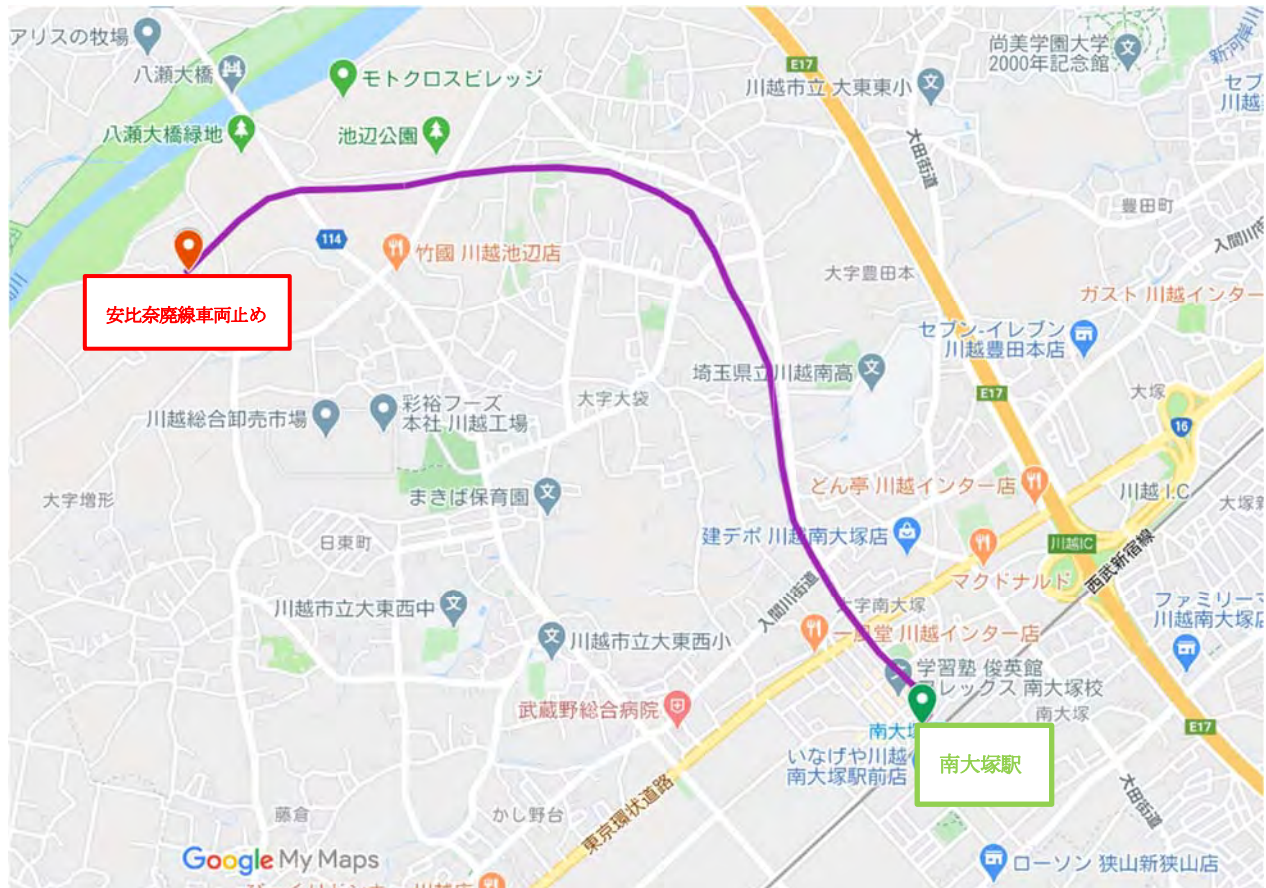
2019年1月28日：観て歩き出発

まず、自宅から南西方向に約5.5kmの安比奈駅舎跡の地点へ向い地図に表示した順路で

安比奈廃線車両止め

から **南大塚駅** までの3.2kmを  に沿って、安比奈廃線を観て歩きます。

なお、安比奈廃線ルートは、筆者が記入したもので正確ではないことをお許しください。(Google Mapを使用)



現在は、安比奈線に沿った遊歩道・案内板等はなく安比奈駅舎跡に行き着くのも事前調査が必要と考え数回にわたり足を運びました。勿論、安比奈廃線のレールに沿って行けば良いのですが、多くの場所に立ち入り禁止の立て札並びに柵が設けられていますので、出来ないことを痛感しました。然しながら、路線の管理(倒木の除去、除草、柵の保安等)のための入口がありますので、そこから柵の中に入り観ることができました。

まず、安比奈駅舎跡及び車両止めの場所を目指しましたが、雑木の中に存在することは資料により推



測ることが出来ていますので、安比奈駅舎跡へのルートを探索しました。

地図上から推測すると西武建材・安比奈工場から 100m 程の距離にあることがわかります。この場所は、8 年ほど前に遊歩道が整備され、筆者も散策をしたことがありますのでこの地点を目指しました。

遊歩道の案内板から安比奈駅舎跡方向を望むと、水管橋及び駅舎跡地の大木が確認できます。



案内板から水管橋を望む



遊歩道への入口



安比奈駅舎跡の大木

遊歩道入口の右側の土手は入間川右岸です。真直ぐ進んでゆくと約 3 km で狭山市に到着します。案内板の手前を右に砂利道を 15m 程進むと安比奈線のレールに辿り着きます。立入禁止の柵などはありませんので、左にレールに沿って 8m 程進むと駅舎跡に到達します。駅舎跡から水管橋の 2・3 ゲートを繋ぐ橋桁付近まで進むとブッシュの中に貨物車両の脱線を防ぐための「第 1 種車止め」を確認することが出来た。(写真①②③) ブッシュを抜けてさらに進んでレールを確認したが砂利盛の先にレールを観ることはできなかった。



① ブッシュの中の砂利盛



② レールが確認できる



③ ブッシュ前のレール

車止めを確認した後、「安比奈駅舎」が建てられていた広場に行くとも用地管理の機材があり、前方を観ると水管橋を間近に望むことが出来る。駅舎跡前のレールの脇には使用しなくなって久しいことを感じさせる木々とレールを歪ませる木々の根の逞しさを感じさせられた。



駅舎跡前へのレール



駅舎跡の広場



駅舎跡から水管橋を望む

筆者は、改めて時の流れと利用環境の変遷を観て歩きます。安比奈線の貨物輸送は「関東大震災及び戦中・戦後の復興」に必要不可欠であった歴史における物流の変化の中でもがきながら終焉を迎えているように感じられてなりません。1963 年に安比奈線が休止してから 56 年が経過しており、架線柱・高圧電線は既に廃棄されているが、一部のレールと橋桁等が現存しているので観て行きます。 次号へ続く

《編集の小密》

情報誌第 58 号をお届け致します。長い長い梅雨があけたら急に真夏の到来では体がついて行きません。その上新型コロナです。日本全国感染が止まりません。やはり第 2 波は来ているのでしょうか。医療現場及び介護施設等で働く皆様に尊敬の拍手をお送りします。



写真 1 国立科学博物館/SonotaCo



写真 2 国立科学博物館/Network



写真 3 国立科学博物館/SonotaCo

での正確な軌道が明らかになり、隕石の元となった母天体の推定も可能となります。現時点で隕石の母天体として可能性のある小惑星は 3 つが挙げられていますが同定には至っておりません。今回発見されたものは落下した隕石の一部に過ぎないとみられており、予想より広い地域に様々な質量の隕石が落下している可能性も考えられます。多くの隕石が発見されれば、今後の隕石落下計算精度の向上に役立つだけでなく、母天体と推定された小惑星の研究にもつながります。

石井 勉、記

2020 年 7 月 2 日未明に火球が表れました。詳しくは【2020 年 7 月 16 日 国立科学博物館/SonotaCo Network】に掲載されておりますのでそちらを参照して下さい。概略を説明します。国内で 53 番目となる隕石が千葉県習志野市内で発見されました。7 月 2 日未明に出現した火球に伴う隕石とみられています。7 月 2 日午前 2 時 32 分、関東地方上空に満月よりも明るい火球が出現しました。火球は爆発を繰り返しながら西から東へと移動し、その様子は自動観測カメラや定点観測カメラなどによって記録されました。また、火球出現の数分後には衝撃波による低く大きな音が響き、広い範囲で聞こえたという情報が深夜にもかかわらずリアルタイムで報告されています。流星や高高度発光現象の観測ネットワークである「SonotaCo Network」では、関東をはじめ長野県や兵庫県などでも撮影された 9 本の映像を分析し、火球に伴う隕石が落下した可能性を指摘して、その位置を推定しました。隕石の破片は重さ 63g、大きさ 45×30×25mm。2 つ目は重さ 70g、大きさ 50×35×20mm。2 つ目の破片が茶色いのは、隕石に含まれる金属が雨と外気の影響で錆びたためです。7 月 6 日より約 1 週間にわたってガンマ線を測定したところ、宇宙空間で宇宙線に晒されたことで生成された放射性同位体が検出され、これらの破片が最近、落下した隕石であることが確認されました。国内への隕石の落下は 2018 国立科学博物館年の小牧隕石以来 2 年ぶりで、確認されたものとしては 53 番目となります。2 つの破片はきれいに合わさる部分があり、1 つの隕石が割れたものと考えられます。その外観から、普通コンドライト隕石の一種とみられており、現在、鉱物や貴ガスの詳細な分析が進められており、分析によって隕石の分類が確定した後、「習志野隕石」として国際隕石学会に登録申請される予定だそうです。今回火球は多数の地点で観測されていた頃からほぼ正確な軌道が計算可能であり、火球の光学観測から隕石発見前の軌道計算を行い、その予測に基づく落下推定地域で隕石が回収されることは非常に珍しく、国内では今回が初めて事だそうです。世界全体でも、隕石回収後に軌道が判明したものを含めても 42 個しかありません。隕石の経路が

精度よく計算できると、地球に飛来するま

FAR 情報誌 No. 58 (非売品)

発行日 2020 年 9 月 15 日

発行者 川上壽昭

編集委員会 森 克彦 (委員長)

石井 勉 江島光弘

橋本廣信

山田和美 (顧問)

森 連絡先 Tel&Fax : 049-225-2619

Email: far_editorial_boards@yahoo.co.jp

mokamokawh@gmail.com